



飛騨神だより

令和5年6月1日
発行
飛騨神岡高等学校



4・5月の行事より

・入学式（4月10日）
今年度は37名の入学生を迎えました。1Aの田中万達（たなかかずしげ）が入学生代表として宣誓しました。



・対面式・部活動紹介（4月12日）
新入生と在校生の対面式では、生徒会長が歓迎のあいさつをし、生徒会行事を中心とした飛騨神での一年間の生活について新入生に説明しました。
部活動紹介では、プレゼンや実演を交え、新入生に向け部のアピールと、部活動の魅力、楽しさを伝え、その結果、今年度の部活動加入率は90%となりました。

・修学旅行（4月24～27日）

本校では通常2年次で沖縄修学旅行を実施していましたが、コロナ禍での実施は不可能との判断で、3年次の4月24～27日に延期され、実施することができました。沖縄の自然や文化について体験し、平和について深く考え、とても有意義な修学旅行となりました。

【一日目】

中部国際空港～那覇空港

ひめゆり平和祈念資料館

【二日目】

おきなわワールド（文化体験）

マリナー研修

【三日目】

タクシー研修

ダイナークルーズ

【四日目】

首里城公園

那覇空港～中部国際空港

（感想）

戦争の悲惨さをビデオだけじゃなく、当時の教科書や顔写真、再現された洞窟などで、生で実感することができた。

・沖縄戦について学ぶことができ、実話を聞き戦争の悲惨さを改めて理解できた。

・琉装をすることで沖縄の文化を感じることができた。着付けや生地など着物や浴衣とは違うところを発見できた。

・他の国の人たちも多かったが、人種や文化の壁を超えていてとても楽しかった。

・ガラス体験ができ貴重な経験ができたと感じた。

・シュノーケリングで見たことのない魚やサンゴなど、沖縄独自の生態系に触れることができて面白かった。



・校内企業展（5月17日）

生徒は各自の進路希望により、20社から3社を選択し説明をそれぞれ30分受けました。地元企業について理解を深めると共に、働くことの意義を考えることのできる貴重な体験となりました。

OPEN! 飛騨神

5月22日（土）に、学校開放日「OPEN! 飛騨神」が開催されました。この催しは、本校の姿を地域の方々に広く知っていただくことで、飛騨神岡高校が高原郷にあって無くてはならない存在だということを確認してもらえればという願いで例年、5月中旬に開催しています。

当日は、多くの方々に来校いただき、授業、生徒による学校説明、部活動をご覧いただきました。

今後の予定

【6月】

5～8日 前期中間考査

20日 連携中学部活動交流

【7月】

19日 合同芸術鑑賞会

20日 授業公開・小中高交流

21～25日 三者懇談

26日 オープンスクール

連携中学中2体験授業

新転任者の紹介

今年度、新たに赴任された先生方を紹介いたします。

教頭 那須 貴
教諭 栗田大河（国語）

大森賢一（理科）

寺門亜由美（英語）

山田佳那太（商業）

高松秋芳（理科）

中井 尚（工業）

新転任者を代表して

この3年余り、新型コロナウイルス感染症の影響により、行動制限を余儀なくされてきましたが、5月8日に5類へと移行し、これまで制限されてきた教育活動も本来の目的を明確にした上で再開できることとなります。本校でも、地域活動への積極的な参加、中高一貫教育の推進、学校公開の充実等に取り組みしていきます。飛騨神岡高校の良いところは、生徒の人数が少ないからこそ全員が主役となり、一人ひとりが多くのことに挑戦できることです。地域の皆様に、生徒たちの頑張る姿を直接ご覧いただける機会を設けていきたいと思っています。今後とも本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

教頭 那須 貴